

AV ニュース エクスプレス

松下財団「第28回実践研究助成」を募集
学校のIT支援目的—NPOアイラ (ILA) が設立
IPA・CEC「教育用画像素材集活用コンテスト」開催
「第43回科学技術映像祭」参加作品募集
「スクールサウンドフェスタ2001」ノミネート校決定
日本科学教育学会主催の研究会—筑波大・馬橋小で開催

AV 情報

■松下視聴覚教育研究財団「第28回実践研究助成」を募集

(財)松下視聴覚教育研究財団では、初等中等教育・社会教育における「視聴覚・情報メディアの効果的な活用および教材開発」などに関する実践的な研究計画を募集し、優れた計画の団体・グループに対して助成を行う。

研究課題は、一般研究(自由課題)とテーマ研究(特定課題 総合的な学習の時間と教科学習との相互作用を図る実践)の2種。一般研究は1年間を単位とした研究に対し、最高70万円を、テーマ研究には、2年間にわたる研究に対し、総額120万円を助成する。

応募締切は1月31日、結果発表は3月10日。

問い合わせ

(財)松下視聴覚教育研究財団
電話 03-5460-2705

<http://www.mef.or.jp/>

■学校のIT支援目的—NPOアイラ (ILA) が設立

学校教育でのIT技術者の育成やそのための学校支援、また新しい学習環境の将来像を示すための研究、実証実験等を、自治体や企業、学校・教員と協力して行うことを目的に、通称アイラ(ILA: インターネット・ラーニングアカデミー)が設立された。

理事長は、金子郁容氏(慶應義塾幼稚舎長、慶應義塾大学院教授)。特別協賛企業には、沖電気工業、サン・マイクロシステムズ、シスコシステムズ、日本オラクル、日本ヒューレット・パッカード、マイクロソフト等が参加し、IT教育推進に向け有力企業が、それぞれ技術提供を行う予定。

問い合わせ

〒107-0052 東京都港区赤坂
2-14-27 国際新赤坂ビル東館7階
ファックス 03-5549-6907
E-mail: info@ila.or.jp <http://www.ila.or.jp>

コンクール情報

■IPA・CEC「教育用画像素材集活用コンテスト」開催

情報処理振興事業協会(IPA)、(財)コンピュータ教育開発センター(CEC)は、ミレニアムプロジェクト『教育の情報化』政策の一環として平成11年度補正予算事業「教育用画像素材構築事業」を推進している。このほど、「教育用画像素材集」サイトから、画像素材を学校等教育機関等(家庭での教育を含む)における教育目的利用に限り、無償で複製・加工・二次の利用することができる環境を整

ブックレビュー



「メディア・リテラシーを育てる国語の授業」(21世紀型授業づくり41)

井上尚美・中村敦雄編 明治図書
2001年11月刊 A5判 213頁
2,500円(税別)

メディア・リテラシーをめぐる論議が高まる中で、従来から進められてきた教科教育の研究の側からの発言・提案は、あまり多くなかった。

本書の中でも指摘されているように、視聴覚メディアやコンピュータの発展がメディア・リテラシーに関わる教育問題が前面に出る感じで、それに新聞が考察の中に加えられているといった状況である。本書は、そういう状況への国語科教育の専門家からの問題提起である。

全9章のうち、いわばメディア・リテラシーの考え方を解説しているのは5章、メディア制作の立場からの発言が対談の形で1章であり、これに、小・中・高校での実践報告7編を収録した2章とその考察1章が加えられている。

この実践報告には、パソコンでのカルタづくり、CMづくりでの「説明のされ方」学習、映画(ビデオ)づくりの実践(以上小学校) チラシ広告の研究、漫画でつくる放送劇、メディアの選択をめぐるパネル・ディスカッション(以上中学校)、そしてテレビニュースの編集を学習する高校の実践などがそれぞれが含まれている。

これら7編(3・4章)の授業実践を、それぞれ分析した論稿(5章・大内善一氏執筆)は、メディア・リテラシーと国語教育との関連を論じた理論的論稿(8章・岩永正史氏執筆)とともに今後に向けての問題点を示しており、2人の編者の論稿(1章・中村氏、2章・井上氏)とともに興味深い。

(高桑 康雄)

備した。

同コンテストは、「教育用画像素材集」を授業に活用するための、実践活用のアイデアと、その利用作品を募り、優秀作品を表彰するもの。

応募締切は1月末日。審査結果は、平成13年度のEスクウェアプロジェクトの成果発表会(平成14年3月8日)において、入賞作品の表彰を行う。

問い合わせ

(財)コンピュータ教育開発センター 電話03-3593-1801
<http://www.cec.or.jp/CEC/>

■「第43回科学技術映像祭」参加作品募集

(財)日本科学技術振興財団、(財)日本科学映像協会、(社)映像文化製作者連盟、(財)つくば科学万博記念財団の共催による標記映像祭において、科学技術に関する優れた映像作品を

募集する。

近年デジタルビデオ編集された個人作品の出品も増えており、試験研究機関や大学の研究者、高校教諭等の受賞作品もある。

分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門。参加資格は日本在住の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、及び個人の製作で、平成13年2月1日～14年1月31日までに完成または放送した映像作品。応募締切は1月31日(木)まで。

3月中旬に内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞14作品を発表する。

問い合わせ

(社)映像文化製作者連盟
電話 03-3501-0236 <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

■「スクールサウンドフェスタ2001」ノミネート校決定

現代教育新聞社他の主催による標記コンクールは、学校教育の音楽活動や情報教育の活性化を目的に開催される。

今回の応募は、教職員・小学校・中学校の部あわせて113作品の応募があった。審査は昨年12月8日に行われ、1次審査通過作品の中から、岩手県・浮島小学校など、受賞校7校がノミネートされた。

1月12日(土)14時より、ヤマハエレクトーンシティ渋谷(東京都渋谷区)において、審査員長川池聰氏(日本女子大学)による全体講評や、スクールサウンドフェスタ大賞、プロセス賞ほか各賞の発表及び授賞式が開催される。当日は、受賞者や審査員、その他参加者の交流会も予定されている。

エル・ネット
1月放送予定

各番組は、エル・ネットを利用し、全国1700カ所の受信施設（公民館・図書館・学校・生涯学習センターなど）に放送されている。

子ども放送局 第2・4土曜日
10:30～15:30

■12日「環境」

夢スタジオ1030「環境」～日本縦断！自然にやさしい“知恵”さがしの旅～/輝く子どもたち「もっと遠くへ飛びたい！～たったひとりのジャンプ少年団～」～北海道・朝日町～/子どもとしゃかん「馬の本」/マイクロ

の小宇宙「ウニの発生」/のぞいてみよう知らない世界 わくわく探海ツアーいのちを感じる旅「深海潜水艇“しんかい16500”が映し出す映像」/チャレンジ教室・手遊び「牛乳パックで星を見る！望遠鏡作りにチャレンジ」

■26日「あこがれの職業」

夢スタジオ1030「あこがれの職業」～一緒に夢を歌おう！～/子どもとしゃかん「恐竜の本」/マイクロの小宇宙「ショウジョウバエ」/輝く子どもたち「冬・まるごと遊び場・岩手の子どもたち」/チャレンジ教室・音楽「ジュニアミュージックステージ」
生中継の番組では、質問・意見をファックス、電子メールで募集中！

FAX 03-5790-8154
<http://www.kodomo.nyc.go.jp>
問い合わせ

国立オリンピック記念青少年総合センター 子ども放送局係
電話 03-3467-1600

科学史学校 第1日曜日
14:00～16:00

■6・9日「ギリシア科学 自然探求と哲学の関係について」

和泉ちえ（千葉大学）
問い合わせ
国立科学博物館
電話 03-5814-9874

各地からの放送

■30日 13:15～16:20

「主体的に学び豊かに生きる子どもの育成～人的・環境をキーワードにして～」

問い合わせ
京都市立永松記念教育センター
電話 075-371-2340

問い合わせ

現代教育新聞社 電話 03-5645-5311 <http://www.gendai-edu.com/>

学会情報

■日本科学教育学会主催の研究會一筑波大・馬橋小で開催

日本科学教育学会（国立教育政策研究所内）では、筑波大学及び千葉県松戸市立馬橋小学校において、研究会を開催する。

筑波大学

テーマ：コンピュータや視聴覚メディアを活用する授業と学習 / 日時：1月26日（土）9:30～16:00 / 講演：木村捨雄氏（日本科学教育学会会長） / 会場：筑波大学教育研究科 8B210教室 / 問い合わせ：筑波大学教育機器センター吉江森男氏 電話0298-53-2409
馬橋小

テーマ：第1回授業モデル化研究会 人と情報そしてメディアのあいだで / 日時：2月2日（土）10:25～15:30 / 公開授業：人とメディアを通してときめき学びを高め合う児童（6学年） / 会場：千葉県松戸市立馬橋小学校 / 問い合わせ：松野成孝氏（松戸市教育研究所）
電話 047-366-7461 <http://www.human.tsukuba.ac.jp/%7Ejsse/>

短 信

横河エム・イー・ティー（株）東京支社は、次の住所の本社に移転・統合した。
〒180-8750 横河電機（株）内東京都武蔵野市中町2-9-32
電話 0422-52-5866

教育出版（株）代表取締役社長谷口隆氏は代表取締役会長に就任、後任社長に小林一光氏が就任した。

訃 報

元文部省視聴覚教育課長小川修三氏は、昨年11月9日逝去された。享年83歳。

お 詫 び

本誌平成13年12月号の「創刊650号記念特集」記事に下記のような誤りがありました、お詫びして訂正いたします。

8頁3行目「視聴覚教育教材利用の手引き」「視聴覚教材利用の手引き」、同囲み記事

11頁「設置状況の推移」表中の「1954年」「1974年」

同頁「教材保有数の推移」表中1984年の16ミリ映画「422,715」「281,369」、録画教材「288,723」「66,025」

36頁「生涯学習とニューメディア」囲み記事中の「優先系のメディア」「有線系のメディア」